

講義名	健康増進入門																								
授業の概要	地域住民が健康で豊かな生活を送るための健康教育活動を学び、ヘルスプロモーションの概念について理解する。また、健康に関する科学的な理解を深め、個人と家族の健康管理ができる素養と生涯にわたり健康を維持・増進するための健康行動について理解することを目的とする。																								
授業の目的	1.地域で暮らす人々の健康の維持や増進に向けて必要となる公衆衛生の基本的な考え方を身に着ける。 2.個人や集団の健康を支えるヘルスプロモーションの概念を習得する。 3.人生のライフステージごとの健康に関する特徴から健康の維持、増進する方法を学ぶ。 4.講義をもとに自分自身の健康や日常生活を振り返り、学生生活のなかで健康を高める行動を考えることができる。																								
授業の到達目標	1.健康観の変遷や公衆衛生の基本的な活動について述べるができる。 2.人々の健康を支えるヘルスプロモーションや健康教育に関する知識を活用することができる。 3.講義で学んだ健康を維持・増進する知識をもとに学生生活や人生に応用することができる。																								
卒業認定・学位授与の方針との関連性	・DP1:知識・理解、DP3関心・意欲に該当する。DP4:態度に一部該当する。																								
授業の計画と内容	この授業はすべてオンライン授業で行う。(オンデマンド 資料配信型) 第1回 健康の定義、健康のとらえ方(上田) 第2回 生活環境が健康に及ぼす影響(上田) 第3回 ヘルスプロモーションの理論、自分自身や家族の健康を守る行動とは(上田) 第4回 ライフステージごとの健康 小児の健康の特徴(横森) 第5回 ライフステージごとの健康 小児の健康の増進(横森) 第6回 ライフステージごとの健康 母子(妊産婦)の健康の特徴(濱松) 第7回 ライフステージごとの健康 母子(妊産婦)の健康の増進(濱松) 第8回 ライフステージごとの健康 成人の健康の特徴(千葉) 第9回 ライフステージごとの健康 成人の健康の増進(千葉) 第10回 ライフステージごとの健康 老年の健康の特徴(松田) 第11回 ライフステージごとの健康 老年の健康の増進(松田) 第12回 ライフステージごとの健康 メンタルヘルスとは(毛利) 第13回 ライフステージごとの健康 メンタルヘルスの特徴(毛利) 第14回 大学生のメンタルヘルス(毛利) 第15回 学生生活の中で取り組める健康行動とは(上田) ※教科書を用いずに配信される資料を中心に授業を行う																								
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>金額(参考)</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN	1.						2.						3.					
書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN																				
1.																									
2.																									
3.																									
参考書・参考資料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>金額(参考)</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN	1.						2.						3.					
書籍名	著者	出版社	出版年	金額(参考)	ISBN																				
1.																									
2.																									
3.																									
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> レポート100% テーマ:「自分の健康の振り返りと今後の健康を考えた学生生活について」 レポートは講義で習った知識や技術を用いて、今後の自分の健康を高める行動を考察すること 論じる内容に応じて引用、参考文献を用いること ワード形式として、2枚以上から受け付けるものとする 																								
成績評価の基準	・授業の到達目標の3項目の到達度を評価基準とする。																								
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> 講義ごとにリアクションペーパーを実施し、学生からの質問や意見に解説を行う形式で対応する。 リアクションペーパー以外にも質問や意見を受け入れる手段としてメールやTeamsなどのオンラインツールを通じて、教員が学生の質問、意見に随時受け入れし内容に応じて対応する。 																								
授業時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> 健康は講義を受ける学生にとっても永遠のテーマであり、自分自身の健康管理のために講義内容をもとに生活習慣の見直しや健康観の振り返りを行うこと。 少子高齢社会を日本は迎えており国民の健康の維持増進は主要なテーマとなっている。マスメディア、インターネットを通じてリアルタイムに情報に接すること。 																								
実務経験のある教員の授業内容	医療機関、保健所、保健センターなどの機関で勤務した経験のある看護師、助産師、保健師免許を持つ教員																								
その他																									